

令和1年6月25日

## まみい保育園運営自己評価表

園長 時枝輝明

### A、平成30年度の課題設定

1、平成30年度執行体制は以下のとおりとする。

保育主任1名の他に、未満児全体の調整役としての副主任1名および以上児全体の調整役としての副主任1名の、2副主任体制を整える。また、専門分野において更なる保育の深まりを目指して、それぞれの分野に応じて専門リーダーを設ける。それによって、保育環境・保育遊具の専門性・保育に係る研究テーマの検討などの調整を、園全体でスムーズに行えるようにする。また、0歳から年長児に至るまでの子どもの発達に応じた保育環境等の整備について、発達の連続性に適合した内容に「季節感・好奇心・探求心」を考慮したものに向上させることを狙いとする。

2、年間保育テーマ

30年度の保育テーマは「音」とする。子供たち同士の遊びのつながり {ハーモニー}、保護者と保育園の相互理解 {振動}、職員同士の連携 {協奏} にも通じる。また、地域や行政施設との大きなシンフォニーを形成して、地域に貢献したいと考える。そして、子どもたちが大きく奏でる {交響曲} につながる保育園に発展することを目指す。

### B、園全体としての自己評価

1、執行体制について

体制の面からは、狙い通りに運営されたと考える。

それぞれの副主任が中心となって、子どもの育ちの滑らかな移行が実現できたと思う。ただし欲を言えば、保育室の枠を超えたグループでの研究テーマを設定して、共に違う角度からの意見を交換して研究内容を深めていきたい。また、正職以外の職員にも積極的に研修会に参加してもらい見識を広げるよう推進した。職員の他園との交換留学を広める計画は2件の実施にとどまったので、来年度はさらに拡大したい。

2、年間保育テーマ

30年度の保育テーマは「音」として、子供たち同士の遊びの発展ができた、また保護者と保育園の相互理解 {振動} は十分に行えたと思う、職員同士の連携はさらに進展した。また、地域や行政施設との大きなシンフォニーを形成して、地域に貢献したいと考え地域自治会等とは行事に積極的に参加して親和性を高めた。そして、子どもたちがもっと楽しく遊ぶ中から、人間通しのつながりを感じて、競争するのではなく協力し合う精神を学んでもらった。